

平成25年度学校評価(年間評価)

学校名	大分県立別府青山高等学校
-----	--------------

前年度評価結果の概要	<p>○「分かりやすい授業」の評価については、全職員が分かる授業の実施や授業観察を通じて授業改善に取り組むことができた。</p> <p>○基本的な生活習慣の定着を目指し、保護者と連携した登校指導によるあいさつの励行や始業前予鈴の実施、頭髪服装検査等に取り組むことができた。</p> <p>○キャリア教育を「3つの向上」の更なる充実ができ、キャリア教育シラバスが完成した。</p> <p>○学校行事や部活動の活性化が図られ、生徒の豊かな人間性の育成できた。</p> <p>●家庭学習の習慣化が不十分である。</p> <p>●進路希望達成のための学力向上を一層推進することが課題である。</p>
------------	---

学校教育目標	中期目標	重点目標
「明るく、強く、心温かく」の校訓のもと、「知・徳・体」のバランスが取れた豊かな心を持つ生徒を育成し、地域に信頼される学校を目指す。	<p>① 学力の向上と進路希望の達成</p> <p>② 豊かな人間性の育成</p> <p>③ 地域に信頼される学校づくり</p>	<p>① 分かりやすい授業の工夫や家庭学習の充実等による学力の向上</p> <p>② 基本的な生活習慣の定着と学校行事・部活動等を通じた豊かな人間性の育成</p> <p>③ 「3つの向上」を柱とするキャリア教育の充実</p> <p>④ 中高連携の推進と情報発信の充実</p>

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL SL	自己評価結果		次年度の改善策	学校関係者評価
					評価	分析・考察		
① 分かりやすい授業の工夫や家庭学習の充実等による学力の向上	<p>◆生徒アンケートの授業評価3以上が80%以上</p> <p>◆進研模試での各学年到達目標の達成</p> <p>◆家庭学習時間2時間以上の生徒の割合50%以上</p>	<p>(1) 授業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 発問を重視した授業の研究 1時間完結型授業の徹底 互見授業の完全実施 	<p>◇指導主事招聘の研究授業を全教科で実施</p> <p>◇互見授業を年間2回実施(校内外)</p>	<p>PL: 教務主任</p> <p>SL: 学年主任</p>	3	<p>○指導主事招聘の研究授業を全教科で実施した。</p> <p>○互見授業を年間2回の目標に対し、77%実施できた。</p>	<p>○研究授業の計画を早めに策定する。</p> <p>○互見授業の推進旬間を設け、年間2回以上の実施を目指す。</p>	<p>・校長の、前向きな指導・姿勢が強く感じられる。</p> <p>・互見授業は是非継続して下さい。</p> <p>・生徒によって意識に差があるように思う。少しずつ意識向上できるように一層の改善を期待します。</p> <p>・家庭学習の定着は困難な面が多いが、基礎学力の向上には不可欠なものであり、粘り強く指導を続けてほしい。</p>
		<p>(2) 教師の教科指導力向上と生徒の学力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 他校先進授業の視察 大学入試問題及び外部模試問題の分析・研究 生徒による授業評価の実施 県外調査の実施 各学年到達目標の設定 生徒の実態に即した課題の作成 上位者指導の充実 	<p>◇他校先進授業視察(年間1回)</p> <p>◇入試問題分析会を各教科で各学期に1回開催</p> <p>センター試験・進研模試(過去3カ年)および九州大学・大分大学の2次試験問題の研究</p> <p>◇生徒による授業評価の実施(7月、12月)</p> <p>◇県外学校を視察・調査、情報の共有化(教科会議・職員会議での報告)</p> <p>◇各学力層に応じた課題の作成</p> <p>◇上位者層への添削の実施</p> <p>学年到達目標(類型)1,2年11月進研模試、3年9月進研マーク模試(*累計)</p> <p>3年・・・B1ゾーン10名、B2ゾーン30名(5教科)</p> <p>2年・・・B1ゾーン15名、B2ゾーン40名(3教科)</p> <p>1年・・・B1ゾーン20名、B2ゾーン50名(3教科)</p>	<p>PL: 教務主任</p> <p>SL: キャリア教育主任、学年主任</p>	3	<p>○大学入試問題検討会を各教科で年間3回実施できた。</p> <p>○生徒による授業評価の年間2回実施した(7月、12月)。</p> <p>評価3以上が91%(1年86%2年94%3年92%)であった。</p> <p>○教員セミナーへの参加が多数あり、教科会議や職員会議で寒流報告した。</p> <p>◇学年到達目標</p> <p>3年・・・B1 9名、B2 14名</p> <p>2年・・・B1 4名、B2 12名</p> <p>1年・・・B1 8名、B2 36名</p> <p>●学年進行につれ、厳しい結果になっている。</p>	<p>○大学入試問題検討会を引き続き、各教科で年間3回実施する。</p> <p>○生徒による授業評価を引き続き、年間2回実施する。</p> <p>○上位者の対策について、具体的な方法を検討する。</p>	
		<p>(3) 学習習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 全学年での学習オリエンテーションの実施 クラス担任面接の充実 教科面接の実施 家庭学習時間調査の実施と分析・活用 特別活動・部顧問との連携 	<p>◇青高テストを年間8回実施</p> <p>◇学習オリエンテーションを実施(全学年・全教科 4月中)</p> <p>◇生徒面接の実施・・・全学年全クラス、各学期1回以上</p> <p>◇教科面接の実施</p> <p>成績不振者・・・長期休業中に実施。</p> <p>成績上位者・・・1・2年は11月模試後、3年は適宜実施</p> <p>◇家庭学習時間調査実施(年間2回6月、9月)、結果の分析・活用</p> <p>◇青高テスト前の部活動休止期間における学習時間の確保</p> <p>◇青高タイム(毎週月曜)の効果的実施</p>	<p>PL: 教務主任</p> <p>SL: 学年主任</p>	2	<p>○青高テスト、青高タイムを実施し、学習に対する意欲を喚起した。</p> <p>○学習時間調査を年間2回実施した。</p> <p>●平日136分、休日223分はまだ十分とはいえない。また、0時間を含めた学習時間1時間未満の生徒が占める割合が、それぞれ18%、9%もあった。</p>	<p>○学年、クラスを連携し、学習時間の伸長を図る。</p> <p>○青高テストと青高タイムについて、試験範囲は狭くしかもわかりやすく提示して学習しやすいようにする。</p>	

<p>②基本的な生活習慣の定着と学校行事・部活動等を通じた豊かな人間性の育成</p>	<p>◆生徒アンケートの身だしなみ評価3以上が80%以上 ◆教室環境整備評価3以上が80%以上 ◆部活動加入率80%以上(5/10現在)</p>	<p>(1)規範意識の確立 ・身だしなみ指導の充実 ・あいさつ指導の充実 ・清掃指導の充実 ・自転車マナー(二重路ロック・音楽再生機器使用禁止)の充実 ・時間厳守(45分授業・遅刻指導)の徹底</p>	<p>◇生徒指導部重点目標による特化した指導の徹底 ◇頭髪・服装検査はより効果的な方法を検討し、毎月実施 ◇身だしなみセミナー・マナーセミナーの実施(年1回) ◇登校時のあいさつ指導の実施(毎日)と、生徒会と運動したあいさつ運動の展開 ◇清掃道具の点検及び清掃方法の具体的指導 ◇自転車通学生集会の実施(年2回) ◇部活動生集会、部活動生清掃活動(校外も含む)の実施(毎月1回) ◇予鈴で入室、本鈴で授業開始の徹底 ◇遅刻指導の徹底</p>	<p>PL:生徒指導主任 SL:学年主任</p>	<p>4</p>	<p>○重点項目は年間を通しての目標を決め、重点的に指導できた。 ○服装・頭髪は先生方の協力のもと実施できた。 ○身だしなみセミナー・マナーセミナー、予定通り実施 ○登校指導は教員のローテーションにより昨年度より効果あるものとなった。 ●登校指導は生徒会だけでなく部活動生とも展開できなかった。 ○清掃に関しては、点検・清掃方法の具体的指導は定期的に実施できた。 ○自転車モデル校として、当初予定より警察と連携して実施できた。 ○授業開始の徹底は生徒に定着することができた。 ○遅刻指導は今年度一番の成果をあげ徹底することができた。</p>	<p>○3学期重点項目は、次年度に向けた目標を実施する。 ○服装・頭髪検査はより効果的にするため検査担当箇所を学年で固定する。 ○登校指導は、継続すると同時に月1回全職員で実施する。 ○清掃活動・遅刻指導は年度当初に重点的に指導する。</p>	<p>・以前と比較して挨拶や身だしなみがずいぶんよくなったと感じる。 ・自転車通学生のマナーは全体的には向上している。一層の徹底を。</p>	
<p>③「3つの向上」を柱とするキャリア教育の充実</p>	<p>◆キャリア教育シラバス、年間指導計画の運用・充実 ◆生徒アンケートの進路指導評価3以上が80%以上 ◆英検2級15人以上、準2級70人以上の合格 ◆英検2級資格を用いた推薦・AO入試合格者の拡大(推薦・AO入試合格者15名以上) ◆生徒アンケートの図書館活動評価3以上が85%以上</p>	<p>(1)総合的な学習の時間を活用した「目的意識の向上」</p>	<p>◇先生の一講座の実施(1年) ◇探究学習の充実(2年) ◇宿泊学習合宿の実施(3年) ◇進路講演会の実施(生徒・保護者 年間3回実施) ◇大学訪問の実施(1、2年) ◇大分大学「チャレンジ講座」の活用</p>	<p>PL:キャリア教育主任 SL:学年主任</p>	<p>4</p>	<p>○先生の一講座、予定通り実施 ○探究学習、ほぼ予定通り実施 ○宿泊学習合宿、本年度は校内で実施 ○進路講演会、予定通り実施 ●保護者の参加が少ない ○2年が大分大・福岡大のオープンキャンパスへ ○チャレンジ講座、2年全員が1回は受講</p>	<p>○探究学習の探究方法については、インターネットだけでなく、実験・アンケート・インタビュー等工夫する。 ○高大連携、早めに申し込み、大学と調整する。 ○進路講演会は、魅力のある内容・講師にし、役員と協力し参加を呼びかける。</p>	<p>・「探究学習」は、生徒の様々な能力の伸長に役立つ素晴らしい取り組みである。是非、引き続き取り組んでほしい。 ・英検の全員受験の取り組みの成果が出ている。継続してほしい。</p>	
<p>④中高連携の推進と情報発信の充実</p>	<p>◆高校入試での志願者数の増加 ◆オープンキャンパス参加者数の増加 ◆PTA総会への参加率70%以上 ◆学年PTAへの参加率70%以上 ◆生徒アンケートの情報発信評価3以上が80%以上</p>	<p>(1)中高連携の推進 ・中高連絡会の充実 ・オープンキャンパスの内容の充実 ・高校説明会の工夫 ・定期的な中学校訪問の実施 ・中学生向け「清流」速報版の発行</p>	<p>◇中高連絡会年2回(6月と11月)の実施と内容の精選 ◇オープンキャンパス充実 積極的な広報活動、説明内容の工夫と精査 ◇中学校訪問の毎月実施(校長・教頭・分掌主任) ◇「清流」速報版を月2回以上発行(各中学3年生のHRに掲示依頼)</p>	<p>PL:総務主任 SL:学年主任</p>	<p>4</p>	<p>○中高連絡会を年間2回実施し、近隣の中学校をはじめ多くの中学校の参加があった。 ○オープンキャンパスに参加した中学生の満足度は例年よりも高かった。</p>	<p>○次年度以降もオープンキャンパスの際に在校生が積極的に活動している様子を中学生に見せる。 ○前年度同様、質の高い体験授業を実施する。</p>	<p>・今後も中学校・保護者との連携強化をお願いしたい。 ・PTA総会の出席率をあげる工夫をすること。</p>	
<p>総合評価 次年度への展望等</p>	<p>○生徒アンケート結果によると、4つの重点項目で設定した数値目標の多くを達成することができた。 ○「青高テスト」「青高タイム」等の取り組みにより、学習習慣の定着に一定の効果が見られた。 ○毎日の登校指導等により、生徒のあいさつ・身だしなみ等は大きな改善ができた。特に遅刻数は激減した。 ○キャリア教育の「3つの向上」の取り組みを一層充実することができた。特に英検・探究学習・読書活動は大きな成果をあげた。 ●進研模試での数値目標は達成できず、上位者対策が課題である。 ●PTA総会への参加率を高めるための工夫が必要である。</p>								